

最先端研究開発支援ワーキングチーム(第10回)議事概要

- 日時 平成21年8月25日(火) 14:00～16:51
- 場所 中央合同庁舎第4号館4階 共用第4特別会議室
- 出席者
 - 座長 相澤 益男 総合科学技術会議議員
 - 座長代理 本庶 佑 総合科学技術会議議員
 - 構成員 奥村 直樹 総合科学技術会議議員
 - 同 白石 隆 総合科学技術会議議員
 - 同 榊原 定征 総合科学技術会議議員
 - 同 今柴 東洋子 総合科学技術会議議員
 - 同 金澤 一郎 総合科学技術会議議員、日本学術会議会長
 - 同 有信 睦弘 株式会社東芝顧問
 - 同 飯塚 哲哉 ザインエレクトロニクス株式会社代表取締役
 - 同 石谷 久 東京大学名誉教授
 - 同 勝木 元也 自然科学研究機構理事、独立行政法人日本学術振興会学術システム研究センター副所長
 - 同 岸 輝雄 独立行政法人物質・材料研究機構顧問
 - 同 柘植 綾夫 芝浦工業大学学長
 - 同 佐藤 勝彦 明星大学客員教授
 - 同 中西 友子 東京大学大学院農学生命科学研究科教授
 - 同 中村 道治 株式会社日立製作所取締役
 - 同 西尾 章治郎 大阪大学理事・副学長
 - 同 西島 和三 持田製薬株式会社医薬開発本部専任主事
 - 同 松見 芳男 伊藤忠商事株式会社理事・伊藤忠先端技術戦略研究所所長
 - 同 渡邊 浩之 トヨタ自動車株式会社技監

- 議題

- (1) 中心研究者候補及び研究課題候補の決定について
- (2) その他

- 議事

(注) 本会議は個別具体の研究者名や研究課題名に言及した議論がなされたため、傍聴は不可(非公開)とされた。本議事概要についても、それらが特定されない形での公表とする。

- (1) 中心研究者候補及び研究課題候補の決定について

- 【A構成員】

中心研究者候補及び研究課題候補について、ワーキングチームで行われた審査に関する資料は情報として(最先端研究開発)支援会議へも提出されるべき。(→これに対して座長及び事

務局から、「関連情報は原則全て支援会議構成員にも提出される」との説明あり。）

【B構成員】

ワーキングチームとしては、支援会議に対して最終的な判断材料となるものだけを提出すれば十分という考え方もある。

【C構成員】

このプログラムの予算がどう使われるのか、それをどうモニターするのかという点について、ワーキングチームの構成員としては非常に興味があると支援会議に伝えていただきたい。

【D構成員】

ワーキングチームは、評価のために集中的にヒアリングを実施するなど、自分たちのミッションのベストを尽くした。納税者に対する説明は上位の会議である支援会議が責任を持っていただきたい。

【E構成員他】

選定過程におけるワーキングチームのコメントを支援会議に上げておくべき。

【F構成員】

重要なアドミニストレーションのポストについている人が「研究に専念できる」と述べて応募してきた例が見られたが、学長等の業務をこなしながら、研究者として世界と競争するというのは実際は難しい。評価の際は、そういう点も含めて判断した。

(以上のような構成員による議論の後、支援会議へ上げる中心研究者候補及び研究課題候補の取扱いについて決定。)

(2) その他

(以下、主に経費に対する考え方についての意見が出された。)

【G構成員】

経費は間接経費に一定率を認めるといった単純なものではなく、現実的なものとすべき。

【H構成員】

研究環境改善をきっちりするという観点からは、例えば間接経費は直接経費の一定率といったように明示的にするほうが研究する側からはありがたいのではないか。

【I構成員】

間接経費は適切に使われるべき。直接経費にだけ資金を集中させると、本来必要な経費に資金が回らず成果が期待できない。大規模な研究には大規模な支援体制と間接経費が必要となるのは当然と考えることも重要。

(了)